令和５年９月２日

代表者　殿

関係各中学校長　　殿

柔道部顧問　殿

大分県中学校体育連盟

会長　西　川　幸　宏

大分県柔道連盟

 会長　穴　井　隆　信

（公印省略）

**令和５年度大分県中学校新人柔道大会の開催について(ご案内)**

　　平素より中学校柔道の振興・発展に格別のご理解とご支援を賜り衷心よりお礼申し上げます。

　さて、標記大会を下記の通り大分県中学校新人柔道大会を開催しますので、貴チーム（生徒）の出場につきまして、格別のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

**１，名　　　称**　　　　第４８回大分県中学校新人柔道大会・第３８回大分県中学校女子新人柔道大会

**２，主　　　催**　　　　大分県中学校体育連盟・大分県教育委員会・大分県柔道連盟

**３，後　　　援**　　　　公益財団法人大分県スポーツ協会

　大分合同新聞社　・　ＮＨＫ大分放送局・ＯＢＳ大分放送　・　ＴＯＳテレビ大分　・　ＯＡＢ大分朝日放送

**４，期　　　日**　　　　令和５年１０月１４日（土）～１５日（日）

**５，日　　　程**　　　　１０月１４日（団体戦）　　　　　　　　　　１０月１５日（個人戦）

　　　　　　　　　　　 集　　合 ８：３０　　　　　　　　　　　　集　　合　　　　８：３０

　　　　　　　　　　 　計　　量 ８：５０～　９：２０ 計　　量　　　　８：５０～　９：２０

　　　　　　　　　　 　監督会議　　　９：２０～　９：50 監督会議　　　９：２０～　９：４０

　　　　　　　　　　 　開 始 式　　１０：0０～　　　　　　　　　　試合開始　　　9：55～

　　　　　　　　　 　　試合開始　　１０：15～　　　　　　　　　　表　　彰　　　　試合終了後

**６，会　　　場**　　　　 サイクルショップコダマ大洲アリーナ　柔道場

**７，参加資格 (1)大分県内の中学校に在学中の１・２年生**

**（２）参加選手は、令和5年度全日本柔道連盟に登録した者に限る。**

8,参加制限 (1) 団体戦:単一校（単一団体）で編成されたチームとする｡

チーム編成　　　　･監督とコーチ各１名､男子は選手５名､補員２名以内､女子は選手３名､補員１名以内とする。

 　　　　　　　　　　　　　　　但し男子３名以上､女子２名以上の選手で出場を認める｡

 　　　　　　　　　　　　　　･オーダーは最も体重の重い者を大将とし､以下体重順に編成すること｡

 ･男子で５名に満たないでメンバーを編成するとき､４人編成の場合は先鋒､３名編成の場合は

 　　　　　　　　　　　　　　　先鋒･次鋒を空､女子で３名に満たない場合は先鋒を空とし、残りを体重順に編成する｡

 　　　　　　　　　　 (2) 中学校における監督は､出場校の校長・教職員・部活動指導員とし、教職員・部活動指導員以外のコーチは校

長の認めた者とする。個人戦における監督等については、大分県中学校体育連盟引率細則による。地域クラ

ブ活動の監督については、大分県中学校体育連盟特別規程による。詳しくは大分県中学校体育連盟ホームペ

ージ参照）

**9,階　　級**　　　個人戦

 各階級の体重は次の通りとする。（男子８階級、女子８階級）

　　　　　　　　　　　＜男子＞　５０ｋｇ級(50kg以下)　　　　　　　　　 ５５ｋｇ級(50kg超～ 55kg以下) ６０ｋｇ級(55kg超～60kg以下)

６６ｋｇ級(60kg超～66kg以下) ７３ｋｇ級(66kg超～73kg以下) ８１ｋｇ級(73kg超～81kg以下)

９０ｋｇ級(81kg超～90kg以下)　　 ９０ｋｇ超級(90kg超～)

　　　　　　　　　　　＜女子＞ ４０ｋｇ級(40kg以下)　　 ４４ｋｇ級(40kg超～44kg以下) ４８ｋｇ級(44kg超～48kg以下)

 ５２ｋｇ級(48kg超～52kg以下) ５７ｋｇ級(52kg超～57kg以下)　　 ６３ｋｇ級(57kg超～63kg以下)

７０ｋｇ級(63kg超～70kg以下)　 ７０ｋｇ超級(70kg超～)

**10，競技方法**　　　（1）団体戦

1. 男女共参加チーム数によりパート数を決め、予選リーグ（３チームリーグを基本）を行い各パート上位２チームにより決勝トーナメント戦を行う。（予選同パートは決勝トーナメント１回戦で対戦しないようにする。）

　　　　　　　　　　　　　　②予選リーグの順位は、次の方法により決定する。

　　　　　　　　　　　　　　　(a) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

　　　　　　　　　　　　　　　(b) (a)において同等の場合は、勝ち数の合計による。

　　　　　　　　　　　　　　　(c) (b)において同等の場合は、勝ちの内容により決定する。

　　　　　　　　　　　　　　　(d) (c)において同等の場合は、負け数の合計による。

　　　　　　　　　　　　　　　(e) (d) において同等の場合は、負けの内容により決定する。

　　　　　　　　　　　　　　　(f) (e)において同等の場合は、１名による代表戦（自由代表）で決定する。

　　　　　　　　　　　　　　③トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。

　　　　　　　　　　　　　　　(a) チーム間における勝ち数の合計による。

　　　　　　　　　　　　　　　(b) (a)において同等の場合は、勝ちの内容による。

　　　　　　　　　　　　　　　(c) (b)において同等の場合は、１名による代表戦（任意の選手）により決定する。

（２）個人戦

①　男女ともトーナメント方式によって行う。

1. 得点差が無い場合は、延長戦（ゴールデンスコア＝ＧＳ）により勝敗を決する。

 ③　3位決定戦を行う。

**１1，競技規則**　　 （１）「国際柔道連盟試合審判規定（２０２２年４月１日施行の新ルール）」及び国内における

「少年大会特別規定」による。

※２０２３年６月１日に発出された「国際柔道連盟試合審判規定の解釈変更に伴う国内大会の適用

　　について」を導入する

※第５４回全国中学校柔道大会申し合わせ事項（団体戦予選リーグの内容が同等の場合の決勝トーナメント

出場チーム決定方法、代表戦について）を導入する。

　　　　　　　　　　 　　 （２）勝敗の判定基準は、団体戦においては「一本」「技有」または「僅差（指導差２以上）」とする。個人戦にお

ける優勢勝ちの判定基準は、「技あり」、または「僅差」以上とする。ただし、「僅差」は「指導差が２以上」

とする。「指導差が１」以内の場合は、ＧＳにより勝敗を決する。「新たな指導差がついた時点」で試合終了と

する。

　　　　　　　　　　 （３）団体戦（決勝トーナメント・予選リーグ）の代表戦は任意の代表とし、個人戦の勝敗の判定基準と同様とする。３分間の本戦で得点差がない場合は、延長戦（GS）により勝敗を決する。

　　　　　　　　　　　 （４）優劣の成り立ちは、以下のとおりとする。

　　　　　　　　　　　　　　　「一本」＝「反則勝ち」**＞**「技有」**＞**「僅差」

（５）試合時間は、団体戦・個人戦ともに３分間とし、延長戦は無制限とする。

（６）柔道衣にゼッケン（チーム名・名字入り）を次の要領で縫い付けて出場すること。

　　（書体は太字ゴシック体とする。明朝または楷書でもよい。）

　①布地は白とし、サイズは、横３０～３５ｃｍ、縦２５～３０ｃｍとする。

　②名字（姓）は上側２／３、学校名は下側１／３とする。

　③男子は黒色、女子は濃い赤色とし、はっきりと記名する。

　④縫い付ける場所は、後襟の下から５ｃｍ～１０ｃｍ下部の位置とし、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

　（７）女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のＴシャツまたは半袖レオタードを着用すること。なお、Ｔシャツのマーキングについては、全柔連が定める規定（平成２５年４月１日より施行）に準ずる。

　　　　　　　　　　　　　　（８）柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーターを着用して受けること。

　　　　　　　　　　　　　　（９）個人戦では、選手の身体的負担を考え、試合終了から次の試合までの間隔を５分間とる。

**１2，組合わせ**　　　　団体戦、個人戦ともに県中体連総務委員会にて、各地区を考慮し抽選により決定する。

**１3，参加費**　　　　団体戦　男女各　４，０００円　　　個人戦　１人　６００円　　(当日受付で徴収）

**１4，申し込み**　　　　（１）必ず校長及びチーム代表者、記載責任者の押印を行う。

　　　　　　　　　　　　　　（２）申し込み期限は、**令和５年９月２７日(水）１７時まで必着。**以後はいかなる場合でも受付を行わない。

　　　　　　　　　　　　 　（３）申し込みは、大分県柔道連盟のホームページよりデータをダウンロードして入力し、申し込み用紙を

　　　　　　　　　　　　　　　　　印刷して申込先に送付すると共に、そのデータをメールで申込先に送信する。

（男子団体は様式１、女子団体は様式２、男子個人は様式３、女子個人は様式４）

（４）郵送（申込）先

　〒879-5421　由布市庄内町柿原49　 由布市立庄内中学校内　　　後藤　義治　宛

学校℡：097-582－0014　　℡：090-2511－9127　 Mail：gotou-yoshiharu@oen.ed.jp

**１５，そ の 他**　（１）団体戦出場選手は、1４日に計量（個人計量を兼ねることができる）

 個人戦のみ出場選手は、１４日団体戦終了後１時間程度計量時間を設ける。

 １５日（当日計量）は８：５０～9：20。

　　　　　　　　　　　（２）柔道衣（ゼッケンを含む）は、公益財団法人全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）

を着用すること。（IJF：赤枠　全柔連：赤番号）

　　　　　　　　　　　（３）申し込み後の団体戦の選手変更は、大会前々日（10月12日）の午後５時までとする。

　　　　　　　　　　　（４）要項や申し込みについて不明な点は、申し込み担当まで連絡をお願いします。

　　　　　　　　　　　（５）大会参加にあたっては、学校・チーム代表としてふさわしい服装・身なり・行動を心がける。

　　　　　　　　　　　（６）脳震盪の対応について指導者及び選手は下記事項を遵守する。

①大会１ヶ月前以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

③練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(7) 皮膚真菌症（トンズランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。

感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。

もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

　　　　　　　　　　　（８）全日本柔道連盟「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を採用する。

　　　　　　　　　　　（９）Ｒ５県新人戦の結果とＲ６春季大会（４月開催予定）の結果の合計ポイントで、７月の県総合体育大会の

シードチームを決定する。（同ポイントの場合は、春季大会の成績を優先する）

☆以下のポイントでシード校を決定

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 大会名 | １位 | ２位 | ３位 | ベスト８ |
| 県新人戦ポイント | ５ | ４ | ３ | １ |
| 県春季大会ポイント | ８ | ７ | ６ | ３ |